

(資源エネルギーに関する調査会)

原子力等エネルギー・資源に関する調査報告(中間報告) 要旨

本調査会は、原子力等エネルギー・資源に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、令和元年十月四日に設置され、三年間の調査テーマを「資源エネルギーの安定供給」とした。

二年目においては、「資源の安定供給等」を調査項目として取り上げ、「地域偏在など資源を巡る国際動向」、「資源開発の新たな可能性」、「コロナ後及びカーボンニュートラルに向けての新しいエネルギー政策」について、参考人から意見を聴取し質疑を行った。続いて、政府から説明を聴取し質疑を行うとともに、委員間の意見交換を行った後、これらを調査報告書(中間報告)として取りまとめ、令和三年六月二日、議長に提出した。

本報告書においては、これまでの調査の概要をまとめるとともに、主な議論を「鉱物資源の安定供給等」及び「気候変動とカーボンニュートラル」という二つの主要論点に着目して整理している。